

# 一般質問

5月31日、6月1日の本会議で、13人の議員が市政全般について一般質問を行いました。要旨は次のとおりです。

## 市民へのより充実した支援の強化に努めよ



公明党 大倉あき子 議員

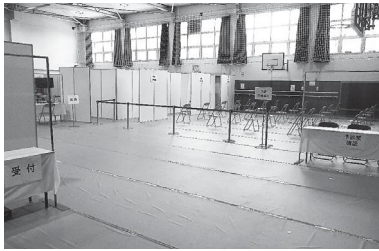


**議員** 新型コロナウイルスワクチン接種の予約について、予約が困難な高齢者に対し、サポートできる体制が必要だ。市の支援体制について伺う。

**市長** 様々な自治体の事例も研究し検討をしている。普段から高齢者と接している人などの協力を得ながら、支援の方法を検討していきたい。

**議員** ワクチンを無駄にしないために、できる限り廃棄が生じない取り組みが重要と考える。余ったワクチンを保育士や教職員に優先的に接種することについて所見を伺う。

**市長** 会場で従事する医療関係者等を優先するが、今後は状況を見ながら、エッセンシャルワーカーの中で一定の優先順位づけをする



ワクチンの集団接種会場（牟礼コミュニティ・センター）

**議員** 新型コロナウィルスワクチン接種特任部長 薬師師会に全面的な協力をいたしたいが、歯科医師会とも意見交換をしていきたい。

**接種特任部長** タクシーチケットについては検討を行ったが見送った。利用者の送迎を行っている通所のリハビリテーション、デイサービス等の施設の体制を整え、通所する人の接種をお願いする対応を進めている。

**議員** 障がいのある接種希望者に対しては、十分な合理的配慮を講じる必要がある。市の取り組みについて伺う。

**接種特任部長** 一定の等級以上の視覚・聴覚障がいのある人には、接種券の発送時に専用のチラシを同封するなどの対応を行っている。また、通常の予約が難しい場合はファクス等での予約ができる旨の案内を記載するなど、最大限合理的配慮に努めている。

**議員** 発達に課題を抱える児童・生徒が通常のクラスになじめず、いじめや不登校につながるケースもあると聞く。このような状況についての対応を伺う。

**教育長** 行動観察などを保護者と一緒に行い、その子にとってどういう教育が一番いいのかという観点で合意形成を図りながら、柔軟に対応している。

**議員** 発達に課題を抱える児童・生徒が進路に苦慮している実態について所見を伺う。



公明党 赤松 大 議員

## 安心して生活を継続できる取り組みを



**議員** 男性が家庭で介護を担う傾向が徐々に増えている実態があり、支援が必要と考える。本市で開催し

いる男性介護者交流会への参加人数、参加者の年齢層及び実施状況を伺う。

**健康福祉部調整担当部長** 70代後半～80代の男性が四、五人参加している。昨年度は新型コロナウイルスの影響で6回の予定が3回の開催となった。本年度は4月に1回目を開催した。

**議員** 介護現場における悩みの具体的解決に向けて取り組みが、男性介護者への、より実践的な支援につながることを考える。所見を伺う。

**健康福祉部調整担当部長** 今行っている家族介護者交流事業に係る職員や参加者の声も聞き、検討する。

**議員** 仕事と介護の両立は喫緊の課題だ。介護休暇制度をためらいなく使える環境づくりが必要と考える。市内事業所における介護休暇の就業規則への反映と介護休暇の取得状況を伺う。

**健康福祉部調整担当部長** 平成28年度に行った実態調査では、介護休暇を就業規則等で定めている事業所が約半数の47%、介護休暇の取得者がいる事業所は約10%にとどまっている。

**議員** 市内事業所に勤務する市民からの介護休暇取得に係る相談実績及び相談促進に向けた取り組みについて伺う。

**健康福祉部調整担当部長** 相談実績については、国及び都府県で対応しているため把握していない。制度の周知等に取組んでいく。

**議員** 国が初めて、通学や仕事の傍ら障がいや病気の有る家族等の介護や世話をする18歳未満の子どもであるヤングケアラーの全国調査を実施し、本年4月に結果を公表した。中学2年生と高校2年生を対象とした調査では1学級に1～2人のヤングケアラーがいるという結果が示された。本市の児童・生徒におけるヤングケアラーの現状を伺う。

**議員** 紙おむつに係る助成の対象を要介護4以上として自治体は、三多摩26市中4市しかない。支給対象者の拡充について伺う。

**健康福祉部調整担当部長** 他市の状況や利用者等の意見も踏まえ検討していく。

**議員** 紙おむつに係る助成の対象を要介護4以上としていても、医師の診断書があれば支給対象にする自治体もある。対象拡大に向けた検討について伺う。

**健康福祉部調整担当部長** 他市の状況や対象者の要望なども聞き、今後の検討課題としたい。

**議員** 東京オリンピック・パラリンピックの学校連携観戦について、実施する場

**議員** 観戦に行かなかった場合の欠席の扱いと振替休業日の設定について伺う。

**議員** 行政手続きなどのデジタル化の加速に当たっては、情報格差対策が重要と考える。デジタル機器に不慣れた高齢者に向けたスマートフォン教室などの実施について伺う。

**市長** 民生委員や福祉関係者とも協力し、事業を実施していきたい。

**議員** 高齢者に向け、使い方だけでなく、スマートフォンでできる本市の行政手続きについても紹介する講座を開くことについて所見を伺う。

**第二副市長** 高齢者に限らずデジタルコミュニケーション支援を検討している。

**議員** 都は公共交通機関の利用を求め、貸し切りバスによる乗り入れは困難としているが、市は予定どおり貸し切りバスを利用するのか。

**議員** 熱中症対策の観点から利用する予定だが、会場に直接乗り入れできないため、可能な限り会場近くで乗降するよう調整している。

**議員** 感染リスクを軽減し子どもや教職員の命を危険にさらす学校連携観戦の中止を決定し、都へ通知するよう求める。所見を伺う。

**議員** 学校連携観戦については非常に高い教育的価値があると認識しており、現在のところ、徹底した感染症対策などにより安全に実施できることを前提として必要な準備を進める。

## 五輪学校連携観戦を中止し子どもの命を守れ



日本共産党 前田 まい 議員



**議員** 東京都オリンピック・パラリンピックの学校連携観戦について、実施する場